

櫻守の会

2023年8月号

2023年8月1日(通巻291号)
発行: 櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0485 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 100名(7月25日現在)
HP: <https://www.sakuramori.net/>

もう一つの人生と自然環境保全活動

上田 宏

50 数年前のころ、大阪で「キンモクセイの花が咲かない」という問題がありました。原因は大気汚染による公害でした。1970(昭和45)年、大阪は万国博覧会で大変な賑わいでしたが、一方では、大気汚染による公害問題が発生していた頃でした。キンモクセイは排気ガスなどの大気汚染に敏感で空気が悪い場所だと花芽が付かなくなり、花が咲いても香りが弱くなることがあります。葉の表面が汚れることでこのようなことが起きるのです。非常にショックな印象深い思い出です。

2001年退職して、兵庫県地球温暖化防止活動推進員で活動を始めます。活動している中で里山整備保全活動「櫻守の会」を知り入会し活動参加する。会長、事務局長に勧められ(公)大阪自然環境保全協会に入会する。各種講座を知り受講して学習。自然環境市民大学(年36講座)受講しているうちに一日の充実感が満たされる事を体験する。活動にひかれて修了後、講座の企画運営に参画し活動を続ける(コロナウイルス感染症流行下まで)。

櫻守での活動が他の活動に広がって行く。妙見高台寺山(竹林整備)・ささやまの森公園(アカマツ林の再生)・西谷の森公園(放棄田の再生)・丸山湿原群(湿原の保全)・水明台エドヒガンの森(エドヒガン群落の保全)など。

特に印象深い活動は、櫻守で井植山荘の山火事後の防災整備。平成14(2002)年3月19日の山火事、3日間にわたり燃え32haを焼失した。参加者は火事後の炭で全身黒くなったの活動であった。しかし活動後の皆さんは満足そうであった事。活動は3年ほど続き、大阪(協会)でも珍しく貴重な活動と応援をいただいたことでした。

もう一つの活動「武庫川エコハイク」を2007年の第1回から参加している。目的は阪神間の母なる川「武庫川」を皆さんに知ってもらう為に武庫川流域の自然環境、歴史、文化財、伝承などを説明して理解を深めてもらう為に。始めたきっかけは「武庫川溪谷のダム計画」反対である。会は「エコグループ・武庫川」、設立者は伊藤益義氏(元櫻守の会事務局長)。伊藤氏病気後、運営スタッフで継続し現在に至る。今年200回を迎える年となる。2023年6月で参加者は9,212人を得ました。活動の思い出の一つに、篠山当野でコウノトリの飛来に出会った、また当野から古市にかけての武庫川堤防道はオドリコソウ群生地が続く、そんな楽しいことも体験できた。もっと武庫川を知ってもらうために「武庫川エコハイク」を継続したい。“まず知ること、知ると好きになる、好きになると守りたくなる”



コウノトリ 篠山-当野の田圃 2015.4.



オドリコソウ 篠山-当野~古市の武庫川堤防 2018.4

現在の活動は

体力が衰え天然記念物の保全活動(丸山湿原群保全・水明台エドヒガン群落保全)が主な活動。

高校時代生物部に所属し、コウノトリの生態調査に参加した事、但馬海岸の海浜植物調査など経験があった。若いころの活動を思い出し、自分の人生を考えた時、40数年の長い間、会社人間をやってきたが、一日の充実感が味わえる活動、自分には「もう一つの人生がある」ことに気付いた。

***** 目次 *****

P1 序文：もう一つの人生と自然環境保全活動
 P2 2023年7月度活動実績表
 P3～P5 活動報告：桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、
 P5 お知らせ・案内：運営委員会報告、会員消息、武庫川エコハイク
 P5～P6 櫻守ひろば：【後輩に伝えたい櫻守の技術・技能】 第5回
 P6 スペイン・サンチャゴ巡礼路「北の道」を歩く / 山手台でツチノコ見つけた？
 P7 活動予定表(8月・9月)

2023年7月度 活動実績表

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
6月20日 (火)	山手台 22名	晴れ	(南斜面)草刈り、ヤシヤブシ除伐	10
			(噴水広場)ツツジの剪定	6
			(アジサイロード)草刈り、雑木除伐	6
6月24日 (土)	ぶらざこむ1 8名	晴れ	会報印刷・発送/運営委員会	8
6月25日 (日)	桜の園(亦楽山荘) 21名	曇り	(城ヶ丘・赤松道育樹地) 枯木伐採・草刈り	5
			(桜坂上部～東屋周辺(育樹の丘) 草刈り	8
			(滝見の道) 崩壊現場の点検、園路補修	4
			(シロバナウンゼンツツジ保全地)作業道の急坂階段設置	4
6月29日 (木)	青葉台 17名	晴れ	(陽光広場) 草刈	6
			(行者山登山路・青葉台口分岐～小林堰堤間) 草刈	5
			(北逆瀬台口・キツネの森) 松等枯れ木伐採	6
7月2日 (日)	武庫山の森 14名	くもり	(武庫山ルート)南ピーク周辺の間伐	4
			(入口広場)入口から広場の草刈り、塩谷ルートの草刈り	5
			(塩谷ルート)最高点付近、川沿い斜面の常緑樹の間伐	5
7月5日 (水)	桜の園(亦楽山荘) 6名	曇りの ち雨	(親水広場周辺) 草刈り、アオキ伐採	2
			(滝見の道) 損傷した階段新設・路肩の修復	4
7月10日 (月)	ゆずり葉の森 11名	曇り 後雨	(県宝谷平) 二股大サイズコナラ倒木の処理、整理	6
			(コバノミツバツツジの丘、県宝谷平) 草刈	5
7/13日(木)	桜の園(亦楽山荘)	雨	活動中止	
7月15日 (土)	武庫山の森 17名	くもり	(塩谷ルート)最高点付近、川沿い斜面の常緑樹の間伐	8
			(東広場)草刈り、フェンスの草取り	9
7月18日 (火)	山手台 19名(1)	晴れ	(南斜面)草刈り、桜周りの除伐	6
			(北斜面；水平道)クズ・イバラなどの刈り取り	8
			(里山こみち)園路整備	5
延べ参加者数				135

桜の園 (亦楽山荘)

6/25 (日) この時期は、草刈り作業が中心になります。前回からの継続で、桜坂から東屋周辺までの急斜面での草刈りは、集中投入して今回でほぼ完了しました。別動班では、城ヶ丘及び赤松道サクラ育樹地の草刈りを開始しました。また、シロバナウンゼンツツジ保全班の定期的な観察や整備も行いました。

4月に発生した滝見の道の岩塊崩壊は、宝塚市により落石防止の工事が行われました。通行禁止の解除に当たり、安全な園路にするための点検と補修方法を検討し、今後の作業計画としました。一定の補修が完了してから、通行禁止を解除する予定です。

7/5 (水) 降雨予報の中、半日作業を承知のうえでの活動でした。単独でも作業が出来る、広場周辺での草刈りや、アオキの伐採等の作業を行いました。本隊は滝見の道の岩塊崩壊現場で、プラ階段の新設や修復を行いました。地面の下には岩塊があり、階段を安定させるのに苦労しました。更なる工夫が必要です。予報通り、12時前には本降りとなり、半日で終了としました。(清水 記)



6/25 東屋上部草刈り作業



6/25 滝見の道 崩壊現場の点検



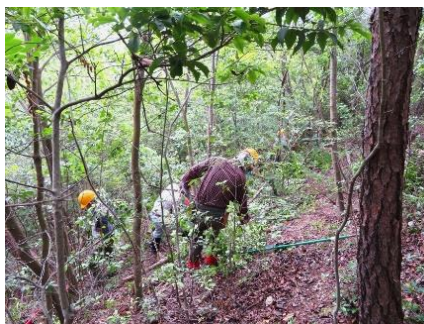
7/5 滝見の道 階段新設

青葉台

6/29 (木) 作業開始頃から真夏日となり、給水休憩をこまめにとる等熱中症対策に気配りして作業をしました。5台(既存2、新規1、ゆずり葉から借用2)の刈払い機を使い、陽光広場と青葉台口分岐から小林堰堤間の行者山登山路の草刈を行いました。更には北逆瀬台口とキツネの森で松など枯れ木の伐採をおこないました。午後には参加者の疲労が大きくなったので通常より少し早目に作業を終了しました。(加賀野 記)



陽光広場南奥部で草刈



北逆瀬台口民家側斜面で枯れ松伐採



行者山登山路支多々川岸部の草刈

ゆずり葉の森

7/10 (月) 九州北部等に大雨警報が発令され、兵庫県南部も午前、午後とも降水確率50%と予想されるなど最低限度の天候で参加者もやや少な目となり2班に分かれて作業しました。1班は県宝谷平のコバノミツバツツジの丘裾で、県が業者に依頼した二股で直径約40cmのコナラ倒木の処理が雑だったものの処理と整理を行い、他班は県宝谷平とコバノミツバツツジの丘で刈払い機3台等で草刈を行いました。午後1時頃から雨が降り出し、間もなく本降りとなったのでサッサと作業を止めました。

帰宅中には大雨となり、カミナリにも会ってずぶ濡れとなりました。

(加賀野 記)



県宝谷平・コバノミツバツツジの丘裾
でコナラ倒木の再処理



コバノミツバツツジ回廊の
園路脇で草刈



コバノミツバツツジ回廊
コナラ周囲にハチ注意囲い

山手台

6/20(火) 山手台南公園の噴水広場では、2年ぶりにヒラドツツジの剪定を行い樹形を整えました。南斜面では、今まで残してきたかなり大きいヤシャブシを6本伐採しました。周りでは桜その他の樹木が育ってきたので、ようやく不要なヤシャブシを処理できました。アジサイロードでは、本年度第1回目の草刈りを本日で終了しました。夏本番を思わせる蒸し暑い中での作業、皆さんお疲れさまでした。(岡 記)



噴水広場；
ツツジの剪定



南斜面；
伐採したヤシャブシ
の処理中

7/18(火) 梅雨はまだ明けていないが、猛暑予想の1日であった。その対策として、作業は木陰でできるものを選び、こまめな水分補給を心がけるとともに、例年通り午前中で作業を終了した。気候が変則なのか、集合広場では早くもコスモスが咲いていました。(岡 記)



南斜面；桜周りの除伐



北斜面水平道；クズなどの刈り取り



里山こみち；園路の点検

武庫山の森

7/2(日) 梅雨の中休みで蒸し暑い中での作業でした。今回も前回の継続で武庫山ルートと塩谷川沿い斜面の間伐、入口から広場と塩谷ルート上の草刈りをしました。武庫山ルートの南ピーク周辺の桜の集まりが綺麗に見えるようになりました。塩谷ルートのビューポイントのツツジを剪定して景観を改善しましたので、ぜひお越しください。

7/15(土) 塩谷川沿い斜面の間伐を継続してます。東広場の笹刈りとフェンスに絡んだ草を取り除きました。道沿いですので綺麗にしてイメージアップです。(横山 記)



塩谷ルートビューポイント



東広場の笹刈り前



東広場の笹刈り後

< お知らせ ・ 案内 >

運営委員会報告 (2023年6月度)

代表 近藤 茂

2023年6月24日(土) 9:50~11:40 ふらざこむ1

新任運営委員を交えて、過去に運営委員会で検討してきた項目とその内容をレビューするとともに、現状の櫻守の会の問題点について討議を行った。その他特記事項はありません。

宝塚市環境パネル展のご案内

運営委員会

環境都市宝塚推進市民会議主催の環境パネル展が下記の要領で開催されます。櫻守の会も出店しますので、是非見に行ってください。

期間：2023年8月15日(火)～25日(金) 場所：イズミヤショッピングセンター小林店

会員動向

事務局

今月度は会員異動はありませんでした。

武庫川エコハイク

エコグループ武庫川

8月度は活動を休止します。9月度の予定は次号でお知らせします。

< 櫻守ひろば >

【後輩に伝えたい櫻守の技術・技能】 第5回

② ノコギリの目立て方法・・・後編

上田 威

3. 現在のマイ鋸“Silky TSURUGI300”の特徴

一世代前のマイ鋸“ランバージャック”とは異なり、現在使用されている TSURUGI300 はメーカーの説明によれば、この鋸では目立ては想定しておらず、歯が磨耗して切れ味が落ちた時には新品との交換を推奨しています。理由は ① 歯先に超硬焼き入れが施されており、磨耗性能が著しく改善された。② 鋸刃が厚くなり、対磨耗性能が良くなった。③ 鋸歯の7本に1本の割合で歯の研ぎ角度が変えてあり、研ぎ角度の違う歯が加わった事で目立て作業が複雑になった。

反面、この改造に伴い、鋸の切り屑が排出され易い構造になり、歯先のあさり(注2)もなくなりました。メーカーの意向は上記の通りですが、製品寿命が延びているとは言えこの鋸を目立てする事なく廃棄するには抵抗感があります。切れ味の落ちたマイ鋸は早い時期の適切な目立てによりある程度の切れ味は回復可能で、2~3回は目立てをしても十分使用可能と思っています(注3)。

(注2) 鋸刃のあさり：従来の鋸では歯の先端部分が鋸の本体部分より少し広くなるように外側に曲げている。切り屑の排出が容易であり、手前に引いた鋸刃を下の位置に押し戻す時の抵抗を和らげる働きもしています。

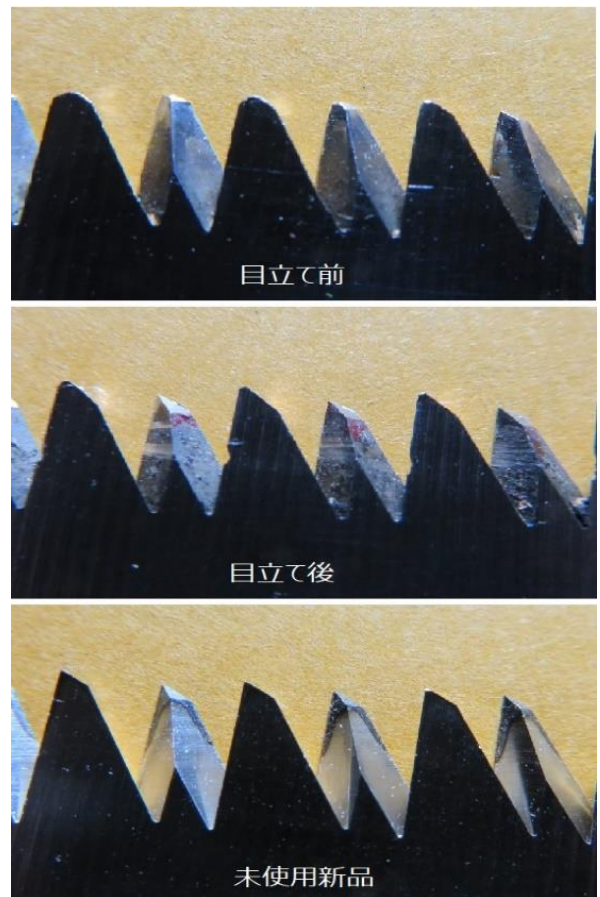
(注3) 現在 TSURUGI300 を目立てする場合、ヤスリの角度設定が難しいので、切り角度を変えてある歯も他の歯と同じ角度で目立てしています。切れ味にはあまり影響は無い様です。

(参考画像) 目立て前、目立て後、新品の歯の画像

4. 最近のマイ鋸と大鋸の使用頻度

鋸の使用頻度は最近では減少傾向にあります。要因として ①ナラ枯れ／松枯れの被害による太い枯木の処理が進み、幹の太い伐採対象木の絶対数が減って来ている。 ②園路整備や草刈作業等が増えて、鋸を使用する作業の比重が減って来ている。 ③チェーンソーによる伐採や玉切り作業の増加により、大鋸とマイ鋸を使用する作業が減少してきた。

この様な状況の下で、マイ鋸の使用可能期間も延びて来ていますが、丁寧な使用と適切な目立てで大事に使って頂きたいと思っています。使用済みで交換された鋸は、目立てして予備用として保管する選択肢も有ります。会には目立て前後の切れ味の違いを体験するためのサンプルの在庫も有ります。試して見てはどうでしょうか？ 興味のある方は、目立てにも挑戦して見てはどうでしょうか？



5. 目立ての頻度と寿命：早めの鋸刃目立てで、作業効率が向上し鋸歯の寿命も延びます。

(最後に) この記事の内容の一部は経験に基づく個人的な見解も含まれています。誤解による不適當な部分もあろうかと思いますがご容赦下さい。(この項 終わり)

山手台でツチノコを見つけた

6月20日(山手台の活動日)、アジサイロードで草刈りを終えて集合場所に帰る途中の歩道の上で、“頭はワニのようで尻尾が飛び出ている全長7cm位の奇妙な虫”を見つけた。名前をGoogle Lensで調べてみると、なんと「ツチノコ」と表示されてびっくりした。

「ツチノコ」は胴体が太い全長50cm位の蛇状の動物と言われている。約50年位前に全国で目撃情報が寄せられたが、これまで1度も捕獲されていない。現在でも多くの自治体等で懸賞金がかけており、生け捕りをした場合は100万位貰えるそうだ。

小生が見つけたものは「ツチノコ」と言えなくもないが、余りにも小さいので、家に帰ってインターネットで「ワニに似た頭の幼虫」で検索した。その結果、「ビロードスズメ」と言う蛾の幼虫であることが判った。身を守るために蛇の様な擬態をしていると言う。

さくら守太郎



スペイン・サンチャゴ巡礼路「北の道」を歩く

瀧本 浩一

運営委員に再任いただいたばかりなのに、休みを頂いてスペインのサンチャゴ巡礼道「北の道」を歩いています。

フランスとの国境に近いイルンという町からサンチャゴ・デ・コンポステーラまでスペイン北部のカンタブリア海に面した海岸線約 850km の行程です。日本なら宝塚市から秋田市を越えて、男鹿半島辺りまで歩くことになります。

4年前に歩いた「フランス人の道」とは段違いに厳しいです。鳥の声と美しい海岸線が慰めですが、前半はアップダウンが多くとても辛かった。

こちらでは紫陽花がとても綺麗です。江戸時代後期に、日本原産のホンアジサイがシーボルトなどによりヨーロッパへ持ち帰られたそうですが、今では原産国の日本以上に愛されています。ガウディも紫陽花が好きだったみたい、

スペイン北部はこの季節、平均気温 21℃から 23℃ぐらいで、日差しは強いが極めて湿度は高く、日本よりも紫陽花の生育には適しているのかもしれませんが。大輪のアジサイが咲いています。

日本の夏は暑くなり過ぎてアジサイもドライフラワーになってしまいます。山手台のアジサイロードを思い出し、桜を見れば、そろそろ間伐かななどと考えながら歩いています。

こちらの刈払機はパワーあってとても重そう。やっぱり人々の体力が違う。

スケール大きい風光明媚な海岸線が続きます。欠点といえばコンクリートやアスファルトの舗装道路が多いこととコース前半の道案内が少し少ないこと。

歩き始めて 2 週間くらいから脂肪の燃焼回路はが働き始め、お腹周りは随分スッキリしました。

明日は、北スペインのアストゥリアス州最大都市ヒホン、海鮮で少し贅沢するか？ BAR はビールでなく、シードル（リンゴ酒）が好まれているようです。毎日、アルコール燃料で歩いています。



こんな海岸線を歩きます。



今晚の宿アルベルゲ€20(個室 朝食付)
夕食€12(ワイン付)



気が付けばゴールまで 223km.

＜ 活 動 予 定 表 (8月・9月) ＞

8月		場所等	9月		場所等
8月 2日	水	桜の園(亦楽山荘)	9月 3日	日	武庫山の森
8月 4日	金	廃線跡草刈り・予備日	9月 6日	水	桜の園(亦楽山荘)
8月 6日	日	武庫山の森	9月 11日	月	ゆずり葉の森
8月 8日	火	ゆずり葉の森	9月 14日	木	桜の園(亦楽山荘)
8月 11日	金	桜の園(亦楽山荘)	9月 16日	土	武庫山の森
8月 15日	火	山手台	9月 19日	火	山手台
8月 19日	土	武庫山の森	9月 24日	日	桜の園(亦楽山荘)
8月 26日	土	会報印刷・運営委員会	9月 27日	水	青葉台
8月 27日	日	桜の園(亦楽山荘)	9月 30日	土	会報印刷・運営委員会
8月 31日	木	青葉台			

集合時間：桜の園（亦楽山荘） 親水広場9時50分、武庫山の森9時50分、他の3活動地は9時30分。
 天 候：当日朝 6時55分NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60%以上の時は中止します。

外に出るのさえ億劫になるような猛暑が続いています。先日、山歩きに出かけたときには滝のように汗をかき、水分補給には随分気を使ったつもりでしたが、下山時には両足が攣って往生しました。元々太ももが攣りやすかったのですが、帰宅後は朝晩のストレッチを欠かさないよう頑張っています。

夏場の山仕事はかなりの重労働です。皆さんもこんなことにならないよう日常の体調管理、作業時の水分補給には十分気を付けて酷暑の夏を乗り切りましょう！

(坂田 記)